

第23回中小企業問題研究会・交流会開催結果報告（埼玉県大会）

- ◇ 開催日：平成19年2月7日（水）
- ◇ 会場：ホテル ラフレさいたま
- ◇ テーマ：「日本一の中小企業・ベンチャー立県をめざす埼玉県」

埼玉県技術士会研究会班

「第23回中小企業問題研究会・交流会」は、「日本一の中小企業・ベンチャー立県を目指す埼玉県」を統一主題に、60社にのぼる企業の協賛を得て、企業関係者（技術士所属企業を含む）79名、技術士（専業）100名、総計179名の参加を得て盛況裡に開催された。

今回の特筆される点は、開催にあたり、60の団体の協賛を頂いたことである。本大会への温かいご支援に対し、誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

☆見学会（自由参加）

平成19年2月7日（水）、8日（木）さいたまスーパーアリーナにおいて開催の埼玉県中小企業「彩の国ビジネスアリーナ2007」展示会の見学。

☆研究会

平成19年2月7日（12:30～17:00）ホテルラフレさいたまの4階「櫓の間」において日本技術士会都丸会長の開会の挨拶、埼玉県知事代理岡島副知事のご来賓挨拶に引き続いて、「記念講演」、「特別講演」、「基調講演」及び「パネルディスカッション」が行われた。

【記念講演】

「未来を拓く中小企業と“渋沢栄一”」と題して、（財）渋沢栄一記念財団理事長渋沢雅英氏により、埼玉県の生んだ近代産業の親である渋沢栄一について講演が行われた。

【特別講演】

「2007年問題と中小企業政策」について、経済産業省中小企業庁経営支援部技術課長中野節氏により、2007年の中小企業の支援策の概要、特徴などがスライドを使って、その重点ポイントが解説された。

【基調講演】

「埼玉県の産業構造の特徴と今後の課題」について、埼玉県産業労働部副部長内田千美氏により、埼玉県の優れている産業環境の説明があり、県の産業の特徴などが、数値やグラフなどのスライドにより説明された。また、埼玉県の中企業の活性化を目指した各種の支援策について、分かり易く解説された。

【パネルディスカッション】



コーディネータの（財）さいたま市産業創造財団理事長江田元之氏のテンポのよい巧みな司会により、「日本一の中小企業・次世代に向かって埼玉県の“ものづくり”」と題して、埼玉の代表企業3社の経営者によるパネリストから、約40年の経営キャリアを通じて得られた経営のKnow-Howが紹介された。数々の凝縮された経営哲学が機知にとんだ言葉で語られ、爆笑や大きな拍手もおき、活気に満ちた、すばらしい盛り上げのなかで、終了した。

☆交流会

研究会終了後、場所をラフレさいたまの15階「レガーロ」に移し、産学官関係者とともに、今回の活動などを話題に活気のあるコミュニケーションと交流が行われた。